

# 沿

六年

画数 8  
筆順 シン 沿

オン エン  
クン そ川う

成り立ち



「谷」の形を表した「谷」と、川の意味を表した「川」とを組み合わせて作った字です。

「川が谷に『そつて』流れる」ことを表した字です。

「物に『そう』」ことの意味に使われます。〔例〕沿岸、沿海、沿道、沿線。

「物に『沿う』」とは、「物に『従う』」ことと考えてもよいと思います。また、「物の『ふち』」と考えてもよいと思います。



使い方

▽川に沿って上流へ進んで行きますと、それまで広がった川はばがせまくなり、流れが急になって来ました。山をこえると、海沿いの道に出ました。沿道には、ところどころに魚がほしてありました。

▽この町の沿革を調べていますが、昔からの古い町だけあって、調べれば調べるほど、興味が出て来ます。

熟語例

▽海沿い（海に沿った所。海のふち）

▽沿海（海に沿った所。海沿い。また、「陸地に沿った海」という意味にも使います。〔例〕沿海漁業（陸地に沿った海で魚を取ること。）

▽沿道（道に沿った所。道のふち。道の両側）

▽沿線（鉄道の線路に沿った所。〔例〕東海道沿線は、景色の良い所がたくさんあります。)

▽沿革（沿は「時の流れに『沿う』」こと。革は「改革」の意味で、「世の中の変化」のこと。「時の流れに従う世の中の変化」ということで、「町の沿革」とは「町の移り変わりの様子」、つまり、「町の歴史」ということです。)

# 我

六年

画数 7  
筆順 ノニ 我 我 我

オン ガ  
クン われ・わ

成り立ち



武器である「戈」の形を表した「戈」と、「手」とを組み合わせて作った字です。

「戈を手にもつ」ことを表した字です。それは「われ（自分）」を守るための行為ですから、「戈を持つ」ことで「われ」を表しました。

「我」の音の「ガ」は、「戈」の音の変化したものです。



使い方

▽あまり我意を通そうとすると、「我利我利亡者」と言われて、きらわれます。少し、我慢しなければなりません。

▽ぼくは、我流の字を書くので、字が下手だと言われます。ぼくも、習字のお手本のような字を書きたいのですが、どうしても我流になってしまうのです。

熟語例

▽我意（自分の意志を押し通そうとする心。わがままな心）

▽我利我利亡者（自分だけの利益ばかり考えて、それにとりつかれたようになった人、という意味の言葉。亡者というのは、幽霊のこと。で、「金の亡者」とか、「欲の亡者」とかいうように、何かにとりつかれて迷っている人のたとえです。)

▽我流（自己流。自分勝手な流儀のことです。)

▽我田引水（自分のつごうのよいように、やったり言ったりすること。もともとは、自分のつごうのよいように、自分の田んぼに水を引いた、ということから、この言葉が作られました。)